

令和3年度 地域おこし協力隊 事業報告書

美作市役所企画情報課

令和4年3月31日

目次

3年目の隊員(4名)

- ・岡野 紘子（上山地区自治振興協議会） 1



- ・赤坂 晃靖（上山地区自治振興協議会） 9



- ・蟻正 敏雅（上山地区自治振興協議会） 17

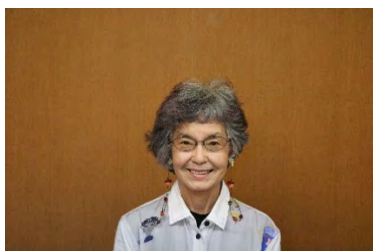


- ・中島 純一（美作市役所都市住宅課） 24



2年目の隊員(5名)

- ・上伊倉 紀美 (勝田観光振興会) 31



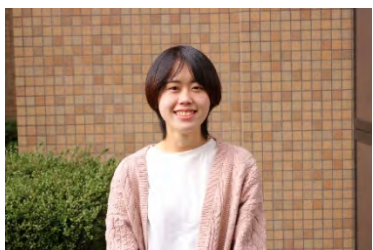
- ・宇都宮 健二 (右手養魚センター) 36



- ・米山 吉将 (東粟倉地域自治振興協議会) 43



- ・島津 めい (東粟倉地域自治振興協議会) 48



・關 竜太（東粟倉地域自治振興協議会） 53



1年目の隊員(4名)

・衣笠 裕介（土居地区自治振興協議会） 57

・衣笠 紀子（土居地区自治振興協議会） 61



・濱田 恭徳（美作市役所森林政策課・地美恵の郷みまさか） 66



・峯平 晃太（湯郷自治振興協議会・湯郷温泉旅館協同組合） 73



地域おこし協力隊としての3年間の活動報告

上山地区 岡野紘子

期間：2019年4月1日～2022年3月31日



放棄地再生・棚田再生

放棄地や棚田の再生、維持、管理、活用は上山地区での活動のメインである活動。

もともと農業はおろか、草刈機すら持ったことがなかった3年前の私。
協力隊のOBやOGなど棚田再生のために活動している「NPO 法人英田上山棚田団」の
メンバー、地元の方々に教えてもらい始まった草刈り、野焼き。
そしてお米作り。

3年間の間に稲作にて管理する範囲もふえ、全体で4.3町歩。
数十年の間放棄地だった場所も数箇所草刈りし、全体で7町歩まで増やすことが
できた。
個人でも1年目に同期の蟻正さんと共に数十年は放置され笹藪になってしまった1町
歩ほどの棚田を切り開いた。

そして作物の栽培を始めた。
稲作では最低限の肥料と農薬にし、除草剤は使わず人力で草管理。
畑作は笹藪を開墾し、落ち葉や米ぬかなど自分の周りにあるものを使った土作りから
始めた。
育てる作物もなるべく在来種などを選択し、より良い心身の基礎を作るための作物作
りを目指した。

この活動を通し、もっと自分が食べているものについて知ってほしいという思いが強
くなり、
田植え、稲刈りイベントも企画し大人から子供まで多くの方にご参加いただきまし
た。





資源の活用、文化の継承、そして共有

里山での暮らしは街とは違い暮らしの風習や文化があり、いまだその中で暮らしている人々がいる。

不便の中に人間の知恵や自然への敬意があり、そのことを忘れてはいけないし、消えそうになっている知恵や文化は受け継ぎつなげていく必要があると強く思った。

中でも自然の力や「衣食住」の中でも医(食)にポイントを置き、学び実践し伝えることを行った。

一人一人が、より自身の生活や心身を見つめることで、普段の食事や暮らし方、自然との付き合い方について見直し考えるきっかけになったらと3年間を通して様々なWSや講座を上山内外でひらいた。

- ・地元の方から伝承してもらったこんにやく作り
- ・棚田で育てた大豆や黒豆とお米で作るお味噌作り
- ・自分で育てる糰作り
- ・育てたヘチマで作るヘチマたわし作り
- ・粿殻くんたん作り
- ・自然の力で作る堆肥作り
- ・野良着作り

等々





薬草

最後は薬草の活動についてです。

私が地域おこし協力隊として上山地区に来た理由の一つがこの薬草事業のためです。上山地区に住み、薬草事業に従事されている協力隊OBの松原さんから薬草について学び始めた1年目。

里山には沢山の野草が自生しており、その野草の中には生薬（漢方薬）として扱われる植物もたくさんあります。

昔の人は身の回りに生えている植物を薬にし、自身の健康を自分自身で作って保っていた。これも一つの文化である。

松原さんから学んだことを元にし、独自でも薬草を広めるために季節に合わせたブレンド茶など数種類の商品を作ったり、WSや講座を上山内外で企画した。

主な活動詳細としては

- ・薬草茶づくり

季節に合わせたブレンド茶を作成し販売し、岡山県内のお店でも取り扱いあり。また個々に合わせたブレンドも行う。

- ・食べる薬草

野草はお茶とするだけでなく、野菜と同じように料理して食べることができる。そのことを知っていただき、自身でも活用してもらえるようにSNSで食べ方等の情報発信や商品開発、イベントで薬草料理を出店。

- ・講座

上山内外で見分け講座や薬草の使い方WSを行う。

- ・薬草栽培

採取するのは自生してるものだけでなく、栽培も試みているが、薬草栽培についてのノウハウは資料として残されていないため、実験しながらの栽培。

クコ、はと麦、藍、紅花、紫蘇、ヤブカンゾウ、黒豆、ホーリーバジルなど。





まとめ

薬草を学びたい。

消費ばかりする生活から生産する暮らしをしたい。

という思いから上山地区の地域おこし協力隊に募集し、活動が始まり早3年。

あっという間の3年間だったけれども、振り返ると驚くほどできることが増えていました。

それぞれの活動を進める中で一つ一つが繋がり、どれも自分にとってはなくてはならないものになっていました。

いつのころからか「暮らし」というキーワードが私の中には常にあるようになり、草刈りをするのも、田んぼをするのも、畑をするのも、薬草をするのも、講座をするのも中心にあるのは「暮らし」。

近年、世界や社会が大きく変わっている中で、心身共に苦しくなっている人を目にしたり、相談を受けたりする機会も増えました。

そこで感じたのは、自分の暮らしや自分の健康は自分で作っていくということを一人一人が気づくことが今後大切になってくるのではないかなということでした。

それができなくともできないという自分を自覚すること、つまり自分をしっかり見つめ自分で自分を知っていくことが大切なのだと。

里山という地域で活動できたおかげで、自然や人との繋がりも直に感じる事ができ、自分の軸をしっかり持つことに繋がりました。

今後はこの3年間を通し学んだことを続けながらも、さらに一人一人の「暮らし」を豊かにしていけるよう活動を続けていくと共に、より多くのかたに知恵や知識を共有し、体験もしてもらえるようにしていこうと思っています。

少しでも多くの人がいきいきできるような世界を目指して引き続き自己研鑽に励みたいと思います。

令和3年度 活動報告

上山地区 赤坂晃靖

▼目次▼

I. 棚田のこと

II. 狩猟のこと

III. 三年間を通しての所感と来年度以降に向けて

I . 棚田のこと ①

▼田起こし



▼代かき



I . 棚田のこと ②

▼田植え



▼生育中



I . 棚田のこと ③

▼稲刈り・ハゼ干し



I . 棚田のこと ④

▼一年を振り返って

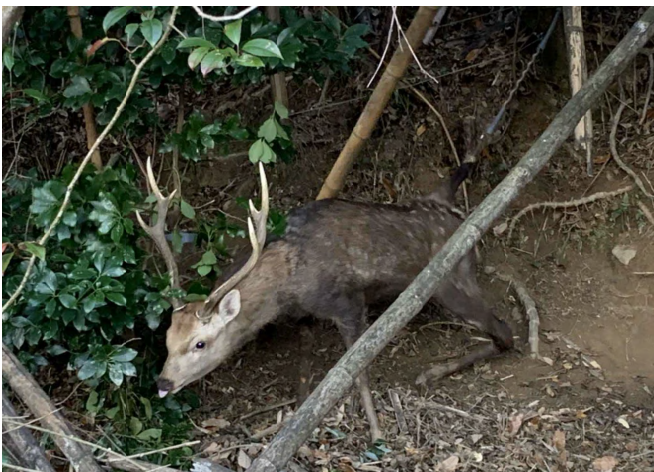
- 住居を移して初めての田んぼ。住んでいる場所と農地が近いことは、重要。常に田んぼの存在が生活の中にあるので、ちょっとした作業が隙間時間に行えるため、細かく田んぼの様子を見ることが出来る。
- 今年度も獣に侵入されてしまい、悔しい思いをした。入りにくい環境づくりと、加害個体の捕獲の両方が必要と考える。
- コロナの影響もあり、田植え、稲刈り等のイベントを開催できないことで棚田に関わる人を増やす活動はしにくかった。

Ⅱ. 狩猟のこと ①

今年度は一年を通して、有害鳥獣駆除に従事。
また、猟期(11月15日以降)は、銃猟も開始。

Ⅱ. 狩猟のこと ②

▼捕獲



Ⅱ. 狩猟のこと ③

▼猪の皮剥ぎ



▼鹿のモモ



Ⅱ. 狩猟のこと ④

▼自家消費



Ⅱ．狩猟のこと ⑥

▼有害駆除



Ⅱ．狩猟のこと ⑦

▼一年を振り返って

- 夏の駆除活動を初めて経験した。暑さ、マダニ、田んぼ作業との両立、獣の動向の把握など、猟期とは違う様々な要因のそれぞれに対応するのに苦戦した。
- 協力隊OB一名が本格的に罠猟を開始して、その方と二人で活動することで罠の管理できるエリアが拡大することが出来た。そのために、さらに多くの地域住民の方々の「獣が来て困る、獲ってくれ」という声に対して、実際に罠を掛けに行くことが出来た。

Ⅱ. 狩猟のこと ⑧

▼一年を振り返って

- 岡山市内等の狩猟に関心を持つ方々とも関係が出来た。狩猟を通じて上山を知っていただき、棚田の活動にもご協力頂いた。今後も、狩猟をきっかけに人とつながり、上山のこと、棚田のことにも関心を持っていただけるような受け入れ方を考えていく。
- 銃猟を開始した。銃の取り扱いなど「安全」をより意識する猟期であった。罾と併せて、正確に、安全に、使いこなせるように訓練する。

Ⅲ. 三年間を通しての所感と来年度以降に向けて①

- 二年目にコロナ、三年目に転居、有害駆除開始と年々大きく環境が変わる中で棚田での耕作、狩猟に関わった。
- 棚田のある地域に暮らすことの面白さ、また大変さを知る三年間だった。
- 罾猟から始めて、銃猟を実際に取り組むまでのステップアップが出来た。
- 特に三年目に、狩猟を通じて人と繋がる楽しさを感じた。その経験を活かして活動の場を作っていきたい。

Ⅲ.三年間を通しての所感と来年度以降に向けて②

- 三年間の狩猟経験を活かして、狩猟やジビエに興味を持つ方や、これから狩猟に関わってみたいと考える方向けに狩猟の体験が出来る場を作っていきたい。
- 獣害も変わらず起きてしまっているので、獣害を軽減させるための有害駆除についても学びを続けていく。

地域おこし協力隊 3カ年活動報告書

蟻正敏雅・2022年3月15日

主な活動

主な活動地域

- 美作市上山地区

主な活動内容

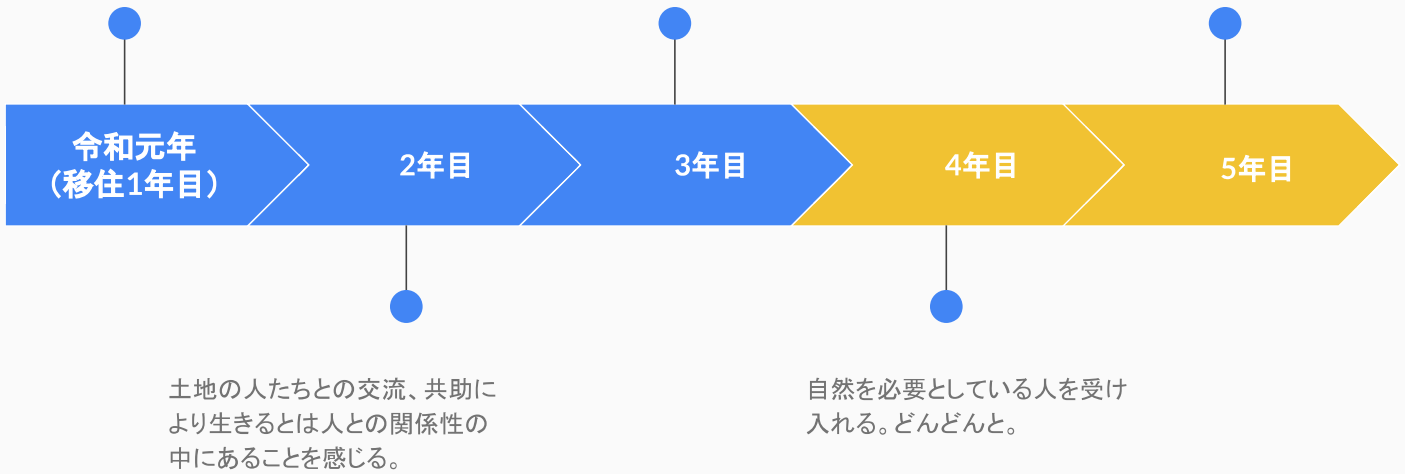
- 棚田の再生、利活用

奈良時代頃から歴史が続くと言われる大規模な棚田群。耕作放棄地が増え続けていたこの半世紀。長年守られてきた大切な棚田の文化を未来へと遺すため活動を続ける。

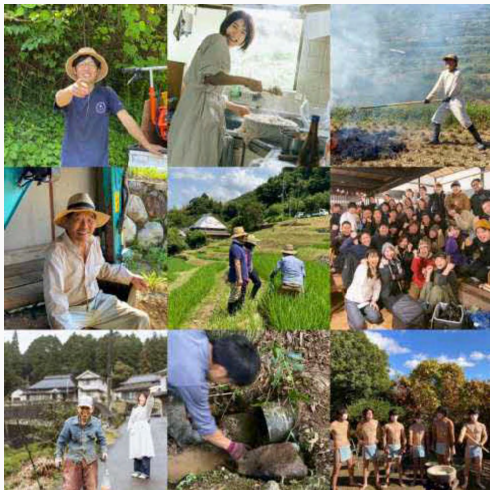
藪を刈り、お米を作り、ジビエを食べることで自然に生かされているを感じる。

この土地で、この自然の中で感じたことを必要な人に届けたいと思い始める。

地域づくりと生業づくりのバランスが取れた村の形が見えてくる。



「生きる」を感じる学びの場所



学校では教えてくれない

- 何かをするのではなく何を与えてもらっていたかに気づいていく日々。

「生きる」を感じる学びの場所



自然から学ぶ事は多い

- 何かを変えるのではなく、自分が変わっていくと世界が変わっていくのだと教えてもらう。

「生きる」を感じる学びの場所



補い合う揺らぎの中で

- 強いちからではなく、やわくたゆたう助け合う中で全体の向かう先が見えてくる。

「生きる」を感じる学びの場所



ずっとそばに居なくても

- 回数や時間じゃない関係性の中で育まれるものがあると思う。

「生きる」を感じる学びの場所



初めての先に。

- 初めての先には学ぶことが沢山あり、感動が生まれやすい。心の震えが共鳴する。

「活動記録」



「活動記録」



「活動記録」



「活動記録」



これからも、多様な人々や多様な自然環境と共に、学びながら生かされ合いながら活動は続いていきます。

豊かな村を考え、暮らしとは何なのかを問い続けられる場所をつくっていけると幸いです。



美作市地域おこし協力隊 令和3年度事業報告

都市住宅課「美しい里山公園」担当
中島 純一

公園管理に関すること

- 日常のパトロール・管理
 - 車両、徒歩、ドローンによるパトロール
 - 園路上の落石撤去や倒木の処理
 - トイレ管理
- 園路・景観維持のための軽作業
 - 園路の轍や雨水侵食箇所の補修
 - 枯死木（特に松くい虫被害を受けたアカマツ）の伐採
 - 落葉清掃・側溝清掃
- 監視カメラによる入園者数集計
 - 協力隊着任前の2018年12月と2021年12月を比較し、入園者数230%増
 - 最近では登山記録共有アプリへの投稿をきっかけに、入園者が急増



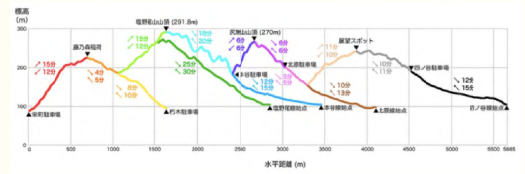
公園広報に関すること

- 美しい里山公園公式HPリニューアル
 - 「コースの決め方」追加
 - GPS登山アプリを活用して作成した園路高低図により、任意のコースごとに所要時間・水平距離の計算、コースの険しさの把握が可能に
 - Google マイマップ の活用によりおすすめコースを紹介



園路高低図

山に登る際には、ご自身の体力と見える時間に合わせた登山計画を立てましょう。そのため、以下の図が参考になります。



公園広報に関すること

- みどころスポットプロモーション動画作成
 - 公式YouTubeチャンネルに投稿、公式HP埋め込み



公園広報に関すること

- 美しい里山公園公式パンフレット令和3年度版作製



外身



中身

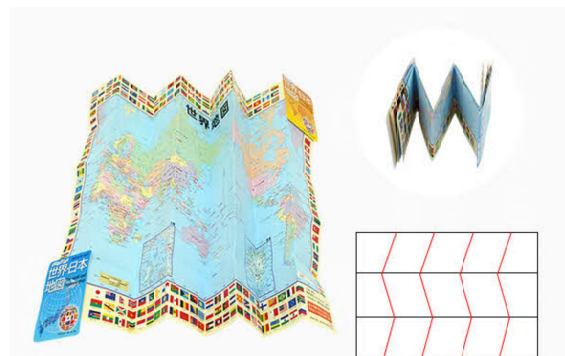
公園広報に関すること

- 市内在住絵本作家さんと共同で「ミウラ折り」マップ作成（今年度中に完成予定）



歩ん助（ぼんすけ）くんによるコースの紹介を交えたマップ（A1サイズ）

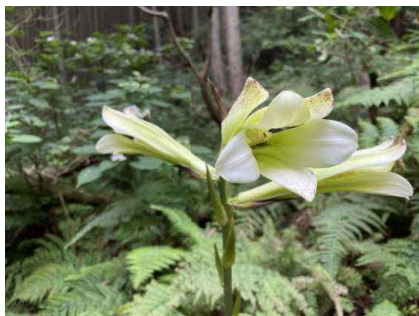
※「ミウラ折り」とは、航空宇宙工学者の三浦公亮氏が考案した特殊な折り方で、大きなサイズのマップをコンパクトに折り畳むことができるうえ、瞬時に展開・収納ができる



ミウラ折り公式サイト: 株式会社井上総合印刷 - ミウラ折りとは <https://miuraori.biz/about/>

公園広報に関すること

- みまちゃんネルでの情報発信
 - 「みまさか情報局」での自然情報紹介
 - 「あなたの出番です」写真提供



ウバユリ



平福日の出スポット



塩野尾山展望スポット

公園広報に関すること

- 岡山県観光連盟運営サイト「岡山観光WEB」に公園紹介記事掲載



美しい里山公園

うつくしいさとやまこうえん

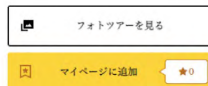


塩野尾山頂



温泉街を一望できる美しい里山へ登ろう！

旧所近傍の山林約4efが、都市公園として整備されています。ウッドチップ舗装された園路や階段、ベンチ・ブルを備えた広場もあり、森の中を抜けるトレッキングコースとして利用できます。園内で一番高い山「塩1（しよのおさん）」からは、湯郷温泉街を一望することができます。



基本情報

住所	〒707-0025 岡山県美作市栄町（栄町出入口）
電話番号	0668-72-1111（美作市役所都市住宅課）
公式サイト	美しい里山公園公式サイト YAMAPで口コミを見る
料金	無料
交通アクセス(車)	中国自動車道美作ICから約5分（栄町出入口まで）
交通アクセス(公共)	JR林野駅より徒歩約5分（栄町出入口まで）
駐車場	無料駐車場あり

※営業時間や定休日、料金など変更されている場合がありますので、お出かけの際は問い合わせ先にご確認ください。

里山公園での各種イベント

- 市内小学校・幼稚園の遠足対応
- 市内ボランティア団体と協働し「美作市の季節を巡る無料バスツアー 里山公園トレッキング」実施
- 森林政策課と共催で「自然とふれあうみどりの月間 美しい里山の集い」実施



お箸作り体験



スラックライン体験



ぶっくる号&工作体験

里山公園での各種イベント

- 営業課と共催で、婚活イベント「アウトドア de うきうきカップリングパーティ」実施



森の中の広場を会場にしたカップリングパーティー

会場までのトレッキング体験に加え、スラックライン、モルックなどのアクティビティも盛り込んだ

コロナ対策のため、交流用のブース間は距離を離し、テーブルにアクリル板を設置した

- 市内製材会社、IT 企業と協働し、「SDGs サイクリング&トレッキング in みまさか」実施



湯郷観光案内所をスタート地点とし、市内各所のSDGsポイントを巡る

途中で里山公園に立ち寄り、トレッキングとスラックライン、モルック体験を行なった

各ポイントで集めた木の札を使って扇子を作り、記念品として持ち帰って頂いた



ブッシュクラフトアドバイザー資格を活かした里山公園外での活動

- ベルピール自然公園にて、スポーツ振興課からの依頼で「東京 2020 パラリンピック競技大会採火式」企画協力、火おこし指導
 - 複数班に分かれてまいぎり式火おこし器、メタルマッチによる火おこしを行い、ひとつのたき火台に集約して採火



ベルピール自然公園



聖火と共に記念撮影

ブッシュクラフトアドバイザー資格を活かした里山公園外での活動

- 大芦高原キャンプ場にて、営業課からの依頼で婚活イベント「たき火を囲んで♪オータムカップリングパーティ」企画、焚き火指導
 - 定員を上回る応募があり、市主催の婚活イベントとしては例年にない人気
 - コロナ禍におけるアウトドア婚活イベントの集客力・有効性を示唆



イベントチラシ



シェルター（タープ）1基とイス2脚のセットを1つのブースとし、協力して作った焚き火を囲んで交流を行うプログラムとした。

来年度の予定事業

- 日常の維持管理、公園整備、情報発信の継続
- 各種イベントの開催
(教育委員会、スポーツ振興課、健康づくり推進課、営業課等と連携)
 - 学校遠足、課外授業受け入れ
 - モルック、スラックライン、ツリーイング体験イベント
 - 自然観察会、ネイチャーゲーム体験会
 - 地元産材や木の実などを使った工作体験（地元製材業者等との連携）
 - 里山図書館&カフェ
 - アウトドア婚活イベント
 - トレイルランニング大会
- 起業のためのインストラクター資格取得
 - ツリーイングインストラクター
 - ブッシュクラフトインストラクター

協力隊任期終了後について

- 個人事業主として起業し、美しい里山公園を始め美作市内各地の自然観光施設等での自然体験プログラム提供
 - ツリーイング体験（ドローンによる樹上での記念撮影含む）
 - ブッシュクラフト体験（市内各キャンプ場等）
- 市内の複数の企業と共同事業体を結成し、里山公園の指定管理者を目指す
 - 当面はそれら企業の手伝いを収入源のひとつとする
- 狩猟・有害鳥獣駆除活動（今年度はシカ2頭、アナグマ1頭捕獲）